

## 琵琶湖の保全および再生についてのアンケート結果

平成 27 年 9 月 28 日に「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」が公布・施行され、平成 28 年 4 月 21 日に「琵琶湖の保全及び再生に関する基本方針」が定められました。今後、県では、県民の皆様から幅広くご意見をいただき、「琵琶湖保全再生施策に関する計画」を定めていくこととなります。

このことから、計画策定や来年度以降に実施する啓発活動等に活用するため、琵琶湖の保全および再生についてのアンケートを実施しました。

★調査時期：平成 28 年 7 月

★対象者：県政モニター 396 人

★回答数：351 人（回収率 88.6%）

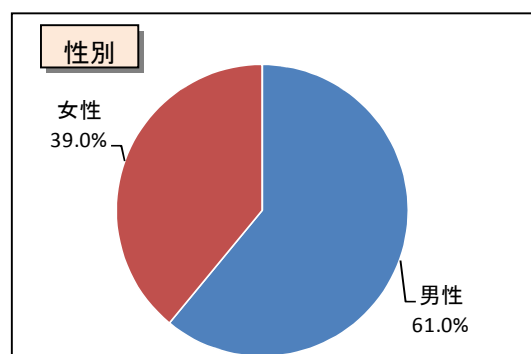
★担当課：琵琶湖保全再生課

（※四捨五入により割合の合計が 100.0%にならない場合があります。）

### 【属性】

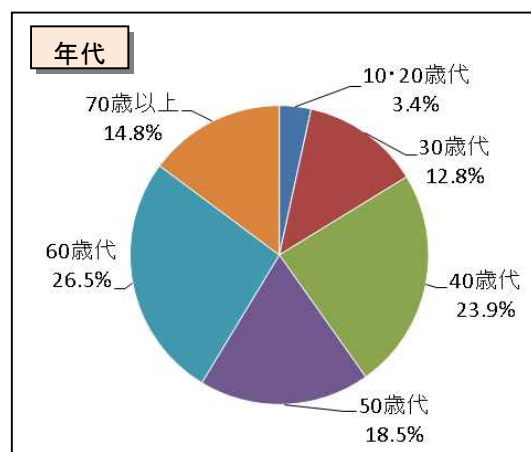
#### ◆性別

項目	人数（人）	割合（%）
男性	214	61.0
女性	137	39.0
合計	351	100



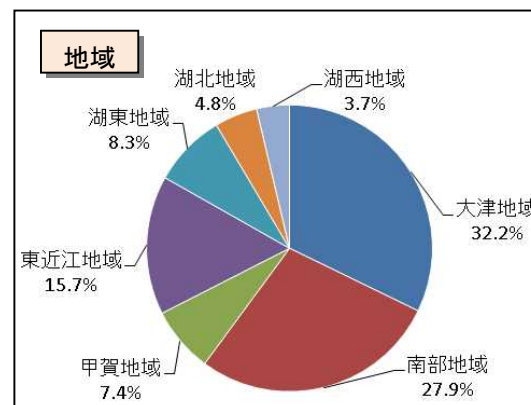
#### ◆年代

項目	人数（人）	割合（%）
10・20歳代	12	3.4
30歳代	45	12.8
40歳代	84	23.9
50歳代	65	18.5
60歳代	93	26.5
70歳以上	52	14.8
合計	351	100



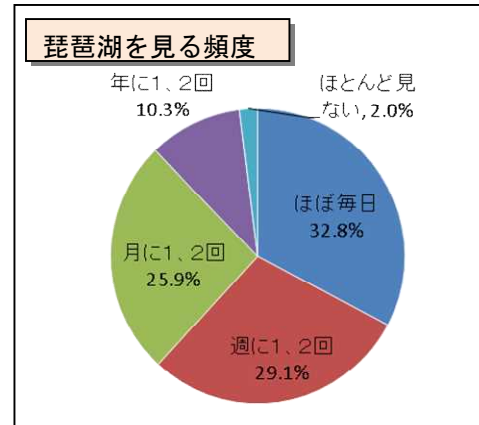
#### ◆地域

項目	人数（人）	割合（%）
大津地域	113	32.2
南部地域	98	27.9
甲賀地域	26	7.4
東近江地域	55	15.7
湖東地域	29	8.3
湖北地域	17	4.8
湖西地域	13	3.7
合計	351	100



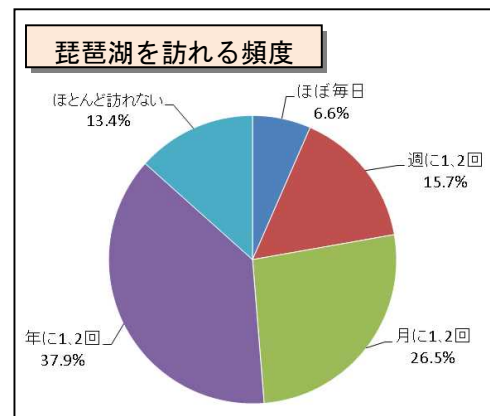
問1 どのくらいの頻度で琵琶湖を見ますか。(回答チェックは1つだけ。 n=351)

項目	人数(人)	割合(%)
ほぼ毎日	115	32.8
週に1、2回	102	29.1
月に1、2回	91	25.9
年に1、2回	36	10.3
ほとんど見ない	7	2.0
合計	351	100



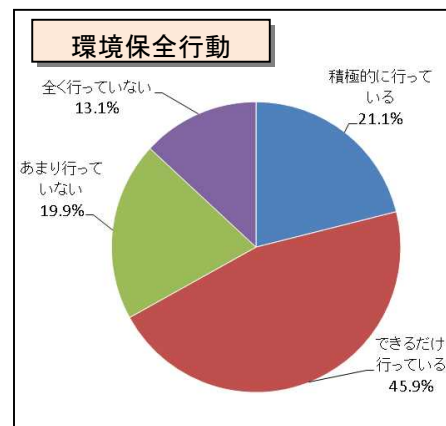
問2 どのくらいの頻度で琵琶湖を訪れますか。(湖岸公園・湖水浴などの利用を含む)  
(回答チェックは1つだけ。 n=351)

項目	人数(人)	割合(%)
ほぼ毎日	23	6.6
週に1、2回	55	15.7
月に1、2回	93	26.5
年に1、2回	133	37.9
ほとんど訪れない	47	13.4
合計	351	100



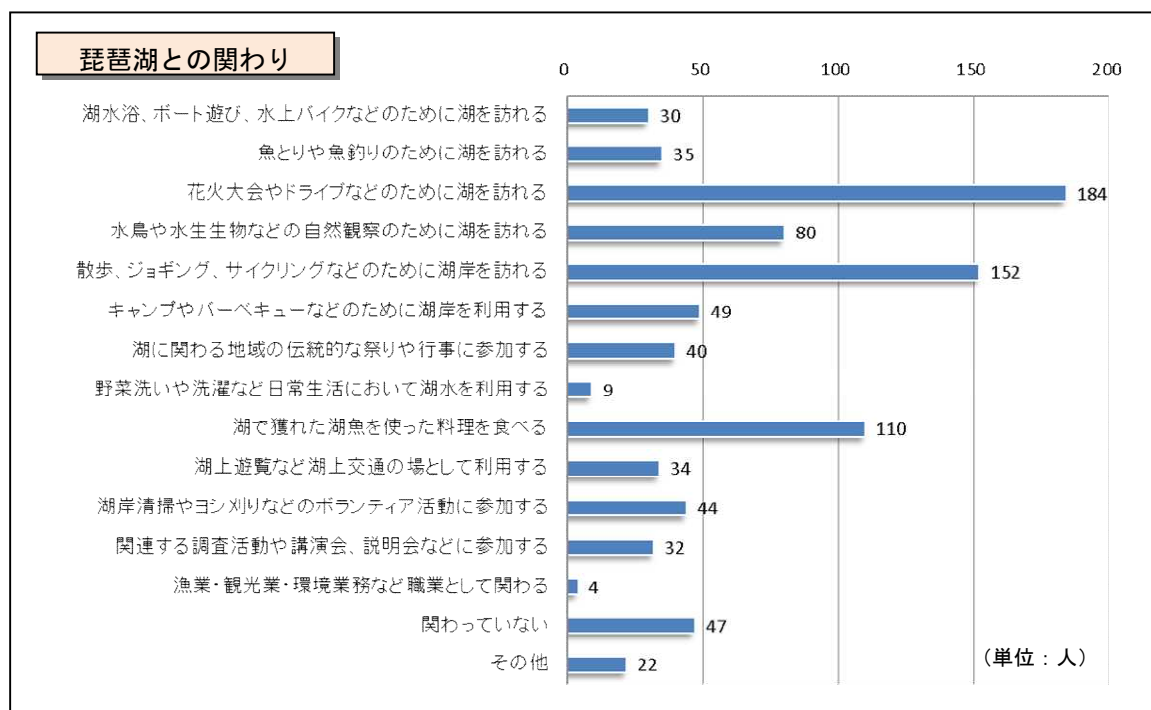
問3 日頃、環境保全行動※を行っていますか。(回答チェックは1つだけ。 n=351)  
※環境保全行動…琵琶湖の清掃やヨシ刈り体験への参加、レジ袋をもらわないなど、環境の保全のために行われる行動のこと

項目	人数(人)	割合(%)
積極的に行っている	74	21.1
できるだけ行っている	161	45.9
あまり行っていない	70	19.9
全く行っていない	46	13.1
合計	351	100



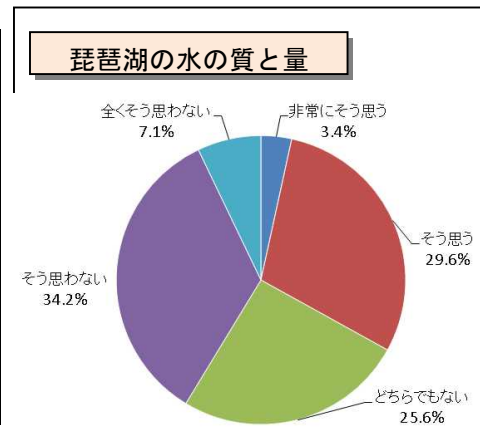
問4 普段の暮らしの中で、琵琶湖とどのように関わっていますか。(回答チェックは  
いくつでも。 n=351)

項目	人数(人)	割合(%)
湖水浴、ボート遊び、水上バイクなどのために湖を訪れる	30	8.5
魚とりや魚釣りのために湖を訪れる	35	10.0
花火大会やドライブなどのために湖を訪れる	184	52.4
水鳥や水生生物などの自然観察のために湖を訪れる	80	22.8
散歩、ジョギング、サイクリングなどのために湖岸を訪れる	152	43.3
キャンプやバーベキューなどのために湖岸を利用する	49	14.0
湖に関わる地域の伝統的な祭りや行事に参加する	40	11.4
野菜洗いや洗濯など日常生活において湖水を利用する	9	2.6
湖で獲れた湖魚を使った料理を食べる	110	31.3
湖上遊覧など湖上交通の場として利用する	34	9.7
湖岸清掃やヨシ刈りなどのボランティア活動に参加する	44	12.5
関連する調査活動や講演会、説明会などに参加する	32	9.1
漁業・観光業・環境業務など職業として関わる	4	1.1
関わっていない	47	13.4
その他	22	6.3



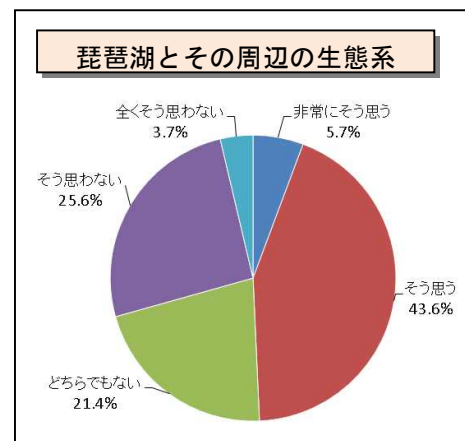
問5 琵琶湖の水は質と量ともに良好で十分だと思いますか。(回答チェックは1つだけ。n=351)

項目	人数(人)	割合(%)
非常に思う	12	3.4
思う	104	29.6
どちらでもない	90	25.6
そう思わない	120	34.2
全くそう思わない	25	7.1
合計	351	100



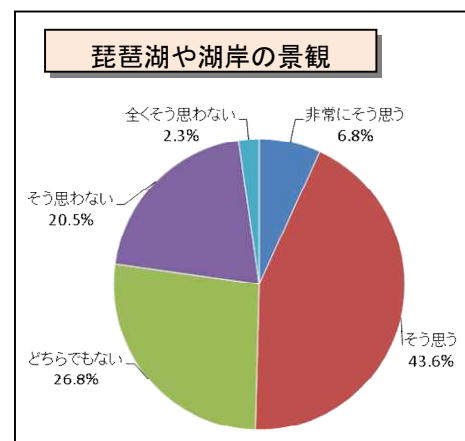
問6 琵琶湖とその周辺の生態系は豊かであると思いますか。(回答チェックは1つだけ。n=351)

項目	人数(人)	割合(%)
非常に思う	20	5.7
思う	153	43.6
どちらでもない	75	21.4
そう思わない	90	25.6
全くそう思わない	13	3.7
合計	351	100



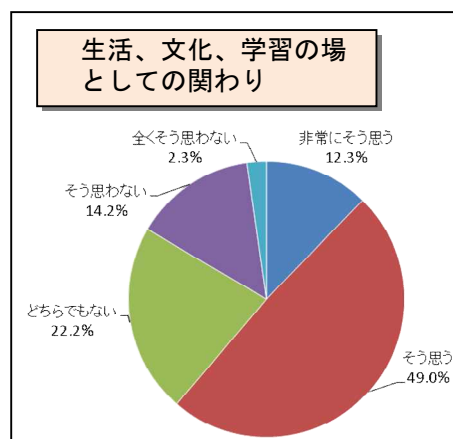
問7 琵琶湖や湖岸の景観は良好であると思いますか。(回答チェックは1つだけ。n=351)

項目	人数(人)	割合(%)
非常に思う	24	6.8
思う	153	43.6
どちらでもない	94	26.8
そう思わない	72	20.5
全くそう思わない	8	2.3
合計	351	100



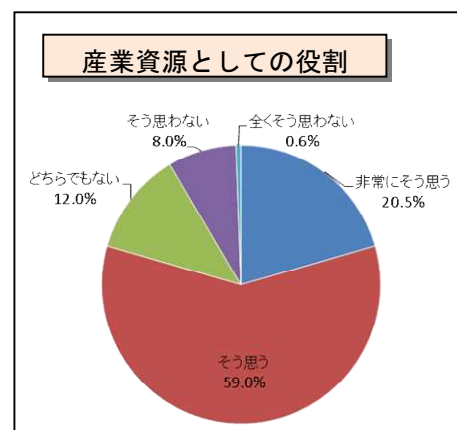
問8 日常的な生活、文化、学習の場として人々と琵琶湖とが深く関わっていると思いますか。(回答チェックは1つだけ。n=351)

項目	人数(人)	割合(%)
非常にそう思う	43	12.3
そう思う	172	49.0
どちらでもない	78	22.2
そう思わない	50	14.2
全くそう思わない	8	2.3
合計	351	100



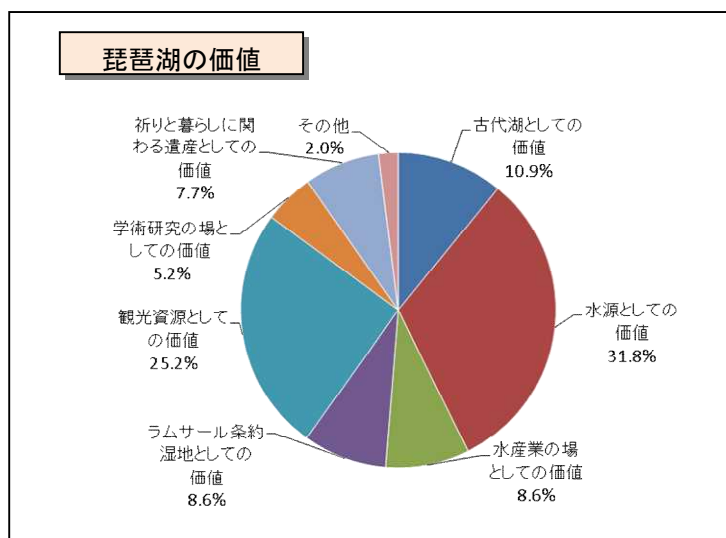
問9 琵琶湖は漁業や観光など産業資源としての役割を担っていると思いますか。(回答チェックは1つだけ。n=351)

項目	人数(人)	割合(%)
非常にそう思う	72	20.5
そう思う	207	59.0
どちらでもない	42	12.0
そう思わない	28	8.0
全くそう思わない	2	0.6
合計	351	100



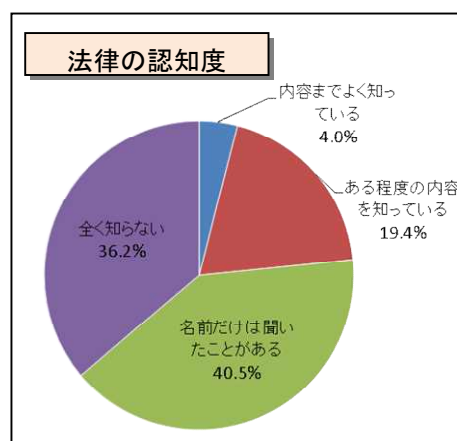
問10 琵琶湖の価値として、今後、特に重視すると良いと思うものを教えてください。(回答チェックは1つだけ。n=349)

項目	人数(人)	割合(%)
古代湖としての価値	38	10.9
水源としての価値	111	31.8
水産業の場としての価値	30	8.6
ラムサール条約湿地としての価値	30	8.6
観光資源としての価値	88	25.2
学術研究の場としての価値	18	5.2
祈りと暮らしに関わる遺産としての価値	27	7.7
その他	7	2.0
合計	349	100



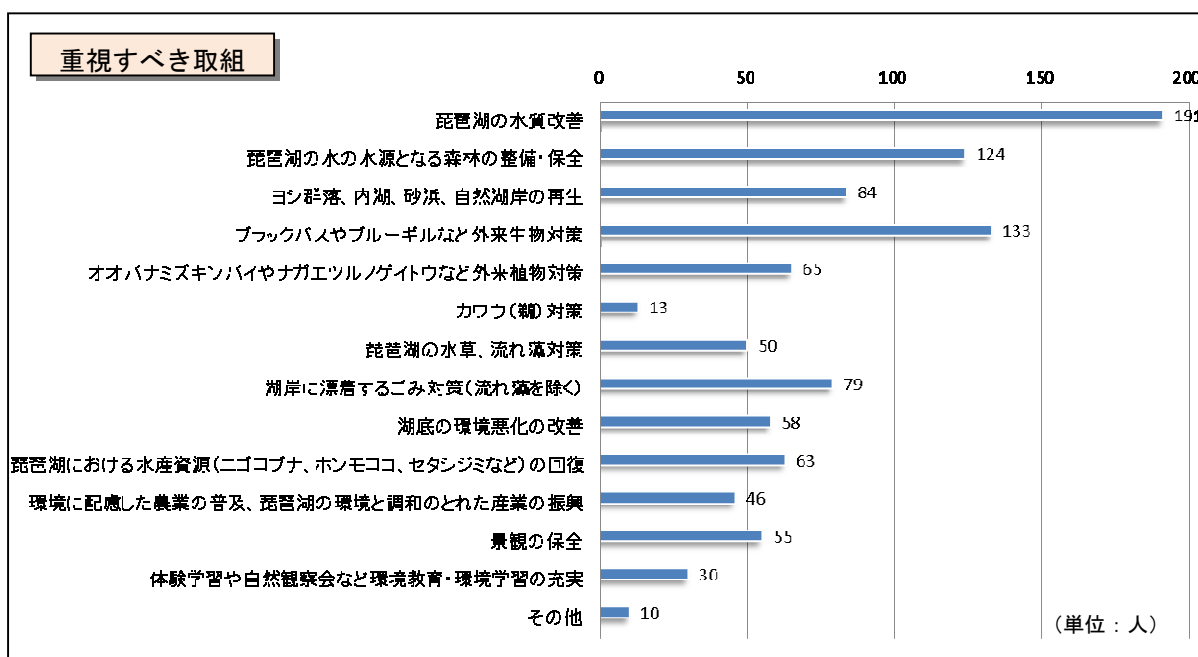
問 1 1 平成 2 7 年 9 月に「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」が公布・施行されましたが、この法律をご存じですか。(回答チェックは 1 つだけ。n=351)

項 目	人数 (人)	割合 (%)
内容までよく知っている	14	4.0
ある程度の内容を知っている	68	19.4
名前だけは聞いたことがある	142	40.5
全く知らない	127	36.2
合計	351	100



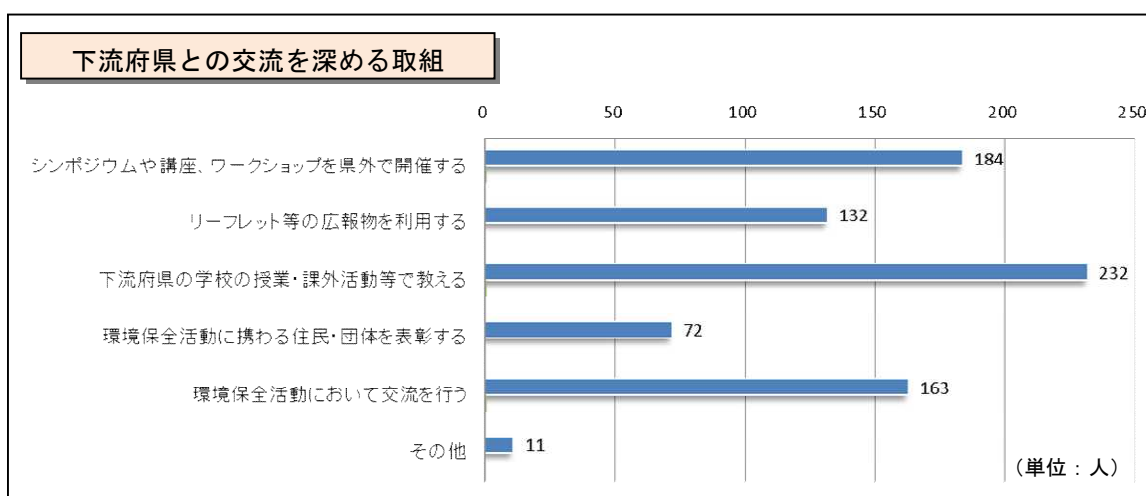
問12 琵琶湖を保全再生していくために、どのような取組に特に力を入れていく必要があるとお考えですか。(回答チェックは3つまで。n=350)

項目	人数(人)	割合(%)
琵琶湖の水質改善	191	54.6
琵琶湖の水の水源となる森林の整備・保全	124	35.4
ヨシ群落、内湖、砂浜、自然湖岸の再生	84	24.0
ブラックバスやブルーギルなど外来生物対策	133	38.0
オオバナミズキンバイやナガエツルノゲイトウなど外来植物対策	65	18.6
カワウ(鵜)対策	13	3.7
琵琶湖の水草、流れ藻対策	50	14.3
湖岸に漂着するごみ対策(流れ藻を除く)	79	22.6
湖底の環境悪化の改善	58	16.6
琵琶湖における水産資源(ニゴロブナ、ホンモロコ、セタシジミなど)の回復	63	18.0
環境に配慮した農業の普及、琵琶湖の環境と調和のとれた産業の振興	46	13.1
景観の保全	55	15.7
体験学習や自然観察会など環境教育・環境学習の充実	30	8.6
その他	10	2.9



問13 琵琶湖の保全再生に際し、上流（県内）と下流（京都府、大阪府、兵庫県）の交流を深めるためには、どのような取組が必要だと思いますか。（回答チェックはいくつでも。n=349）

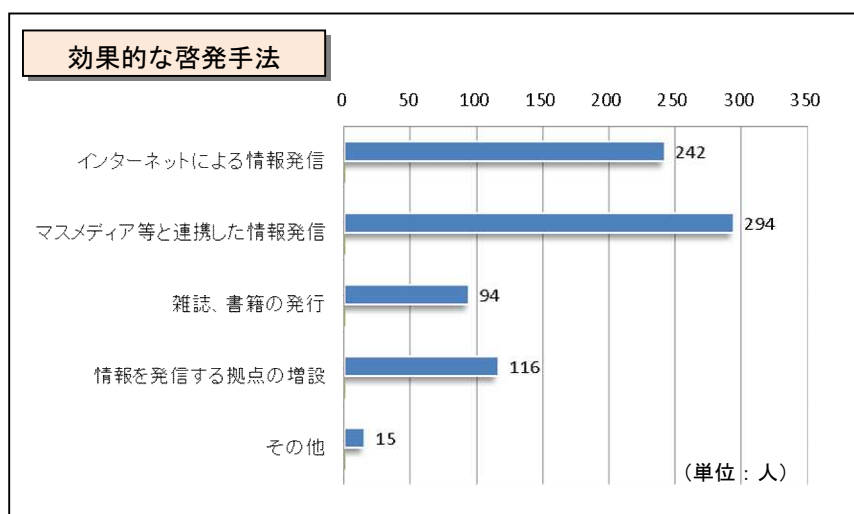
項目	人数（人）	割合（％）
シンポジウムや講座、ワークショップを県外で開催し、琵琶湖の現状や課題、保全再生の必要性について下流府県へ発信する	184	52.7
リーフレット等により、琵琶湖の現状や課題、保全再生の必要性について下流府県へ発信する	132	37.8
下流府県の学校の授業・課外活動等で琵琶湖の現状や課題、保全再生の必要性について教える	232	66.5
琵琶湖・淀川流域での環境保全活動に携わる住民・団体を表彰する	72	20.6
環境保全活動において交流を行う（県内の団体が下流域で活動し、下流域の団体が県内で活動する）	163	46.7
その他	11	3.2





問 1 4 琵琶湖の重要性に関して、広く国民に啓発するためには、どのような手法が効果的だと思いますか。（回答チェックはいくつでも。n=347）

項 目	人数（人）	割合（%）
インターネットによる情報発信	242	69.7
マスメディア（テレビ、ラジオ、新聞）等と連携した情報発信	294	84.7
琵琶湖の保全再生に関する雑誌、書籍の発行	94	27.1
情報を発信する拠点の増設	116	33.4
その他	15	4.3



問 1 5 その他、「琵琶湖の保全再生」についてご意見がありましたらお聞かせください。（抜粋）

- ・何気なく見てしまっている琵琶湖…あって当たり前の生活だからこそ有り難みを大切に、未来に残していけたらいいと思います。学校の授業でもたくさんの取り組みがあるといいですね。
- ・昔は南湖でも顔を水につけて泳げるくらい水が綺麗だったが、今は悪臭が漂っていて、手を浸けるのもためられる。水質改善が一番の課題で、それを沢山の人に知ってもらい、琵琶湖の清掃など、色んな行事に、旅行気分に参加して欲しい。
- ・私は、58歳ですが、子どもの頃と比べると、びわ湖の水質やごみなどは良くなっていると思います。それに、大津市は、なぎさ公園が整備され、びわ湖岸を散歩できるなど、びわ湖に親しむ環境もよくなっていると思います。ですから、滋賀県のために、もっと今のびわ湖の良さを知ってもらい、アピールしていくことが必要と思います。
- ・小中高校などで教育の一環として環境保全活動の実習を強化する。

- ・琵琶湖の保全再生には、根本的な面を解決する必要があると思いますが、それには時間と費用がかかります。それは、長期的な計画を作成し、実施していけば良いと思います。取りあえず、ボランティアなども動員して、見た目が美しい琵琶湖を目指してはどうでしょうか。
- ・ブラックバスやオオバナミズキンバイなど外来の生物の繁殖をすぐにでも止めないと取り返しのつかないことになるのではないかと心配しています。
- ・結婚して滋賀県に住むまで、兵庫県に住んでいました。滋賀県に住んでみて琵琶湖は滋賀県の人にとってとても身近な存在であり、大切にしていることを知りました。同じ関西の兵庫県に住んでいた時は全くと言っていいほど、琵琶湖の情報は入ってきませんでした。もっと、琵琶湖について情報を発信すべきだと思います。滋賀県民がどれだけ大切に守っているかということのを大いに発信すべきです。琵琶湖は滋賀県のものではないかもしれませんが、滋賀県民が大切に守っているからこそ今の状態を保っているのだと思います。
- ・水質改善など一定の成果は得られたと思う。マスメディアを利用した啓発と、環境保全の維持が必要である。
- ・保全とはいうものの、環境負荷を与えないような利活用はドンドン図るべきと考えたい。湖上設置型の太陽光発電や風力発電や波力発電などでエネルギーを得て、湖水浄化や水草除去装置や琵琶湖大橋の照明に利用して地産池消ならぬ湖上産・湖上消費システムが出来れば良いと思う。
- ・京都出身ですが滋賀県近江八幡に住み着いて足掛け35年以上たちますが、周囲の近くに、琵琶湖あり、川が何本もあり、小山が市の周辺にあり、朝日や夕日も美しく、神社仏閣も多く、兎に角都会の雑踏と較べたら自然環境にこの上ない満足感を味わっています。こんな素晴らしい当県に泊りがけ、特に近江八幡に来ていただく観光客の少ないのが残念です。その為の努力がまだまだ足りないと思います。
- ・海は周辺の森の手入れによって、肥沃な海になったり貧相な海になると聞いたことがあります。湖も同じだとすると、琵琶湖周辺の山々の整備は非常に大事だと思います。
- ・滋賀県には、県下一斉清掃、ボランティア琵琶湖清掃活動などがあり、習慣的に地域清掃活動に理解があると考えます。下流地域にも琵琶湖の水の重要性を今まで以上にアピールし、夏のリゾートとしてだけでなく、四季を通しての楽しみ方を紹介することで、琵琶湖保全再生を楽しく体感してもらえるキャンペーンを年に何度か行う。
- ・琵琶湖に赤潮が発生した1977年、滋賀県民は一人一人が自分の手で美しい琵琶湖を取り戻そうと皆が石鹼運動から取り組み、富栄養化条例を作り、あれから多くの皆様のご努力で今日があると思います。世界中から湖沼の保全は注目されていると思います。琵琶湖の保全、再生に関する法律が施行されましたが1977年39年前の取り組みを振り返り、このときの使命感、意気込み、皆さんの理解度を（諸先輩の心を読み返し）知って、琵琶湖の保全再生に取り組んで戴きたい。

- ・琵琶湖の保全再生については、個人でできる範囲で取り組みをしています。以前に、ヨシ刈りに子供と参加しました。会社を通しての参加となりましたが、子供と汗を流して琵琶湖の保全のために活動したことはとても有意義でした。子供も、琵琶湖のために活動できたことでうれしかったようです。
- ・昔、大阪府民として小学校の授業で琵琶湖の洗剤による汚染問題を受けた記憶があります。いまだに記憶があるということは、授業の意味があったと思います。ただ他府県民は琵琶湖を身近になかなか感じられないので、野外学習で琵琶湖に触れることも必要ではないかと思いました。
- ・滋賀に住み感じたことですが、子供たちは教育の現場で得た知識を家庭にも還元しているように思います。これからの未来を担う子供たちへの教育こそ重要かと思います。
- ・自動車にしても、自転車にしても、「琵琶イチ」はとても楽しい要素なのに、一部しか浸透していない。キャッチフレーズを全面的に押し出せば、琵琶湖を中心に滋賀県全体の観光産業を発展させる可能性は十分にあると感じる。観光産業の中で、琵琶湖の保全について織り込んでいけば、観光客と住民双方で環境教育のレベルが向上できるのではないか。
- ・琵琶湖は子供の時から泳ぎに行ってるので子供の時から汚いなあと思ってました！息子が環境に興味を持ち、今高校で勉強しています！琵琶湖に船で出て、水質調査をする実習も先日してきたみたいで、今は琵琶湖の法律を私自身が勉強していますが、周辺で講座を開いて具体的な内容を教えてもらいたいです！
- ・悲しいことに釣りをしていると釣り人の出したゴミをよく見かけますので、いつも出来る限りは拾っています。釣り場でゴミ拾いをすることについて影響を受けた方が、「釣り人が居れば水辺は綺麗になる」袋というものをつくられました。釣りにまつわるゴミは、ホントに拾っても拾っても全部はなくなりませんが、釣りを続けるために、釣り場を守りたいと思っている人間もいることを是非知っていただきたい。
- ・琵琶湖の保全再生は、県内住民はもちろんのことだがもっと下流住民への意思を高める必要があるため行政中心に継続的な情報発信や啓発行動を更に続けていくことが大切です。
- ・最近、琵琶湖も美しくなってきたと思いますが琵琶湖の周辺の美観がいいかというといまいち美しいとは言えないと思う。外国の湖などの景観を見ると琵琶湖などよりずっと美しいと思う。なんとかもう少し周辺を美しくできないか。
- ・人々が琵琶湖に親しめるよう学べるようアクセスアップに力を入れるとよいと思います。特に県民が活用できるように山間部からの道路を早急に整備することが必要だと思います。